

4. 教務関係

(1) 入学者、在籍者の状況

① 公益学部

イ 男女別在籍者数（令和４年５月１日現在）

性別	１年次	２年次	３年次	４年次	計
男	157	161	145	185	648
女	88	82	86	74	330
計	245	243	231	259	978

※休学者の数は在籍者の内数

ロ 出身地別在籍者数（令和４年５月１日現在）

出 身 地		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計	
山形県内	村山	49	46	47	49	191	
	最上	18	12	13	21	64	
	置賜	31	36	39	41	147	
	庄内	69	67	55	49	240	
	小計	167	161	154	160	642	
山形県外	青森県	8	4	6	7	25	
	岩手県	6	8	18	20	52	
	秋田県	34	29	20	27	110	
	宮城県	3	5	4	6	18	
	福島県	12	20	13	23	68	
	茨城県			1	1	2	
	埼玉県			1	1	2	
	千葉県		2			2	
	東京都		2		2	4	
	神奈川県		3	5	2	10	
	新潟県	2		3	3	8	
	石川県	1		1	1	3	
	山梨県		1			1	
	長野県	2		2	1	5	
	愛知県	1				1	
	滋賀県				1	1	
	兵庫県	1				1	
	福岡県				2	2	
	長崎県			1		1	
	熊本県	1				1	
	大分県	2	2		1	5	
	宮崎県	2	1	2	1	6	
	鹿児島県		2			2	
	沖縄県	2	2			4	
	中国		1			1	
	ネパール	1				1	
		小計	78	82	77	99	336
	計		245	243	231	259	978

ハ 退学・除籍・休学の状況（令和３年度）（令和４年３月３１日現在）

学 年	１年次		２年次		３年次		４年次		計		累 計
退学者	３		１５		３		２		２３		４６０
除籍者	０		１		０		０		１		４２
休学者	春学期 ０	秋学期 ３	春学期 ６	秋学期 ４	春学期 ０	秋学期 ０	春学期 ２	秋学期 １	春学期 ８	秋学期 ８	—

② 公益学研究科〔収容定員 修士課程 60 名、博士後期課程 12 名〕

イ 男女別在籍者数（令和４年５月１日現在）

性別	修士１年	修士２年	博士後期１年	博士後期２年	博士後期３年	合計
男	１	３	０	１	０	５
女	３	３	０	０	０	６
計	４	６	０	１	０	１１

ロ 出身地別在籍者数（令和４年５月１日現在）

出身地		修士 １年	修士 ２年	博士後期 １年	博士後期 ２年	博士後期 ３年	合計
山形県内	村山	１	０	０	１	０	２
	最上	０	０	０	０	０	０
	置賜	１	０	０	０	０	１
	庄内	１	６	０	０	０	７
	小計	３	６	０	１	０	１０
山形県外	小計	０	０	０	０	０	０
国外	中国	１	０	０	０	０	１
	小計	１	０	０	０	０	１
合計		４	６	０	１	０	１１

ハ 退学・休学の状況（令和３年度）

学 年	修士課程	博士後期課程	合計
退学者	０	１	１
除籍者	０	０	０
休学者（春学期）	１	０	１
休学者（秋学期）	１	０	１

ニ 科目等履修生の入学者数

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	合計
６	１	６	７	３	１０	３３

ロカリキュラム(2018・2017年度入学生)

●必修科目 ○選択必修科目

合計 124

ロカリキュラム(2020-2019年度入学生)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	必要単位	備考（卒業要件等）			
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター						
基礎教育科目	スタンダード導入科目 [8単位]		●基礎演習a[2] ●基礎演習b[2] ●現代公益論Ⅰ[1] ●現代公益論Ⅱ[1] ●山形地域論a[1] ●山形地域論b[1]								必修	8				
	教 育 科 目	I群 [24単位]	哲学[2] 倫理学[2] 文学概論[2] 心理学[2] 日本史a[2] 日本史b[2] 西洋史a[2] 西洋史b[2] 人文地理学a[2] 文化人類学[2] 英国文学文化論[2] 世界地誌[2]										選択	24以上	・各群から4単位以上修得	
		II群 [22単位]	経済学[2] 法学[2] 政治学[2] 社会学[2] 社会福祉学a[2] 社会福祉学b[2] ジェンダー論[2] 環境社会学[2] 教育学[2] 生涯学習概論[2] 特別支援教育[2]													
		III群 [15単位]	数学a[1] 数学b[1] 実用数学a[1] 物理学[2] 天文学a[1] 天文学b[1] 統計学a[1] 統計学b[1] 医学一般[2] 自然地理学a[2] 自然地理学b[2]													
リテラシー科目	外国語科目 [8単位]	○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ /OEAPⅠ・Ⅱ・Ⅲ /○中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ [各1]		○英語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ /OEAPⅣ・Ⅴ・Ⅵ /○中国語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ [各1]		○英語Ⅶ/OEAPⅦ /○中国語Ⅶ・Ⅷ [各1]						選択必修	8以上	・同一言語8単位必修		
	情報科目 [8単位]	●情報リテラシー[2]		●情報リテラシーⅡ[2]		●基礎プログラミングⅠ[2] ●基礎プログラミングⅡ[2]						必修	8			
専門教育科目	地域経営系	系共通科目 [14単位]	○基礎簿記Ⅰ[2] ○基礎簿記Ⅱ[2] ○経営学基礎[2] ○地域福祉論a[2] ○雇用政策論[2] ○ミクロ経済学[2] ○マクロ経済学[2]										選択	58以上 (発展教育科目と合算して)	・所属系から35単位以上修得 ・所属系の系共通科目及び発展教育科目の特 別プログラム基礎科目（2021年度は休講） から合計6単位以上修得 ・国際教養コースに所属する場合は、選択した語学の語学科目はすべて必修 ■英語、▲中国語	
		経営コース [39単位]	応用統計学a[1] 応用統計学b[1] 経済史[2] 経営管理論[2] 経営工学[2] マーケティング論[2] 福祉経営論[2] 環境マネジメント論b[1] ライフサイクルアセスメント論[2] 会計学[2] 管理会計[2] 経済学特論a[2] 経済学特論b[2] 金融論[2] 産業組織論[2] 経営戦略論[2] 人的資源管理論[2] 企業法務[2] 企業財務分析[2] 非営利組織会計[2] 企業組織の心理学[2] ゲーム理論[2]													
		政策コース [38単位]	公共経営論[2] 行政学[2] 地方自治論[2] 行政法[2] 地方自治法[2] 政策入門[2] 国際海洋法[2] 公共系科目演習a[1] 公共系科目演習b[1] 社会政策a[1] 社会政策b[1] 社会保険論[2] 社会保険論Ⅱ[2] 公的年金論[2] 福祉行政と福祉計画Ⅰ[1] 福祉行政と福祉計画Ⅱ[1] 民法Ⅰ[2] 民法Ⅱ[2] 憲法a[1] 憲法b[1] 地方財政論[2] 国際法[2] 国際関係の法と経済[2]													
		地域福祉コース [31単位]	障害者福祉論[2] 公的扶助論[2] 医療福祉論[2] 権利擁護と成年後見[2] ソーシャルワーク総論a[2] ソーシャルワーク総論b[2] 地域福祉論b[2] 相談援助の理論と方法a[2] 相談援助の理論と方法b[2] 相談援助の理論と方法c[2] 相談援助の理論と方法d[2] 高齢者福祉論[2] 介護福祉論[2] 児童福祉論[2] 司法福祉論[1] 精神保健学[2]													
	交流文化系	系共通科目 [18単位]	○日本文化論[2] ○観光・まちづくり概論Ⅰ[1] ○観光・まちづくり概論Ⅱ[2] ○世界経済事情[2] ○情報発信・ファシリテーションの技法[1] ○サバカルチャー論a[1] ○サバカルチャー論b[1] ○社会調査論a[1] ○社会調査論b[1] ○ヒューマンインタフェース[1] ○インターネットと社会[1] ○マルチメディア論[1] ○セキュリティ論[1] ○データサイエンス入門a[1] ○データサイエンス入門b[1]										選択	58以上 (発展教育科目と合算して)	・国際教養コース語学科目の他コース学生の履修は以下の6科目に限る 英語科目： Advanced English Communication TOEIC[中級] TOEIC[上級] 中国語科目： 中国語会話[初級] 中国語会話[中級] 中国語検定対策Ⅰ	
		国際教養コース [42単位]	国際関係論[2] 国際協力論[2] 国際ビジネス論[2] アジア経済論[2] 中国経済論[2] 中国文化論Ⅰ[1] 中国文化論Ⅱ[1] 比較文化論Ⅰ[1] 比較文化論Ⅱ[1] 多文化共生論[2] アメリカ事情[2] 西洋文学史[2] International Economics[2] 海外インターンシップ[2] [語学科目] ■Advanced English Communication[1] ■English PresentationⅠ[1] ■English PresentationⅡ[1] ■Intensive ReadingⅠ[1] ■Intensive ReadingⅡ[1] ■Academic Writing[1] ■TOEIC[中級][1] ■TOEIC[上級][1] ■Intensive TOEIC[1] ▲中国語会話(初級)[1] ▲中国語会話(中級)[1] ▲中国語中級講義[1] ▲中国語中級講義Ⅱ[1] ▲中国語リスニング[1] ▲中国語検定対策Ⅰ[1] ▲中国語検定対策Ⅱ[1] ▲中国語上級講義[1] ▲中国語作文[1]													
		観光・まちづくりコース [36単位]	観光産業論a[1] 観光産業論b[1] 観光政策論a[1] 観光政策論b[1] 地域・観光資源論[2] 国際観光論a[1] 国際観光論b[1] 余暇と観光の社会学[2] 民俗学と観光Ⅰ[1] 民俗学と観光Ⅱ[1] グリーンツーリズム論[2] 第六次産業論[2] 自然環境の保全と共生[2] 風景のデザインa[1] 風景のデザインb[1] 中心市街地の再生[2] 中山間・離島地域論[2] NPO・NGO論[2] 社会起業家論Ⅰ[1] 社会起業家論Ⅱ[1] 観光・まちづくり演習a[2] 観光・まちづくり演習b[2] 人文地理学b[2] 日本地誌[2]													
	専門演習	メディア情報コース [31単位]	ゲームデザインa[1] ゲームデザインb[1] Unix演習a[1] Unix演習b[1] 地理情報基礎演習[1] 画像情報処理[1] 社会情報処理[1] 数値情報処理a[1] 数値情報処理b[1] 情報デザイン論a[1] 情報デザイン論b[1] 計算機基礎理論[1] コンピュータシステム論[1] システム開発技術論[1] 企業活動と情報システム[1] データベース論[1] データベース演習[1] インターネット論[1] インターネット演習[1] 情報処理特講(情報システムa) [1] 情報処理特講(情報システムb) [1] 情報処理特講(情報システムc) [1] 情報処理特講(情報システムd) [1] 応用プログラミング[1] データ構造とアルゴリズム[1] 情報処理特講(応用数学a) [1] 情報処理特講(応用数学b) [1] 情報処理特講(応用数学c) [1] 情報処理特講(応用数学d) [1] 科学メディア論a[1] 科学メディア論b[1]										必修	8		
		一般[8単位]	●専門演習Ⅰ[4]													●専門演習Ⅱ[4]
		留学[8単位]	○専門演習(留学)Ⅰa[2]													○専門演習(留学)Ⅰb[2]
発展教育科目	特別プログラム	特別プログラム 応用科目											選択	58以上 教育上科目と専門 合算してを 除く専	・実践外国語 長期留学中の外国語に関 わる学修時間に応じて単位認定 ・国際教養コース所属の場合、「短期語学」 留学」又は「実践外国語」より選択必修	
		社会福祉士 養成課程 [20単位]	相談援助演習Ⅰ[2] 相談援助演習Ⅱ[2] 相談援助演習Ⅲ[2] 相談援助演習Ⅳ[2] 相談援助演習Ⅴ[2] 相談援助実習指導Ⅰ[1] 相談援助実習指導Ⅱ[1] 相談援助実習指導Ⅲ[1] 相談援助実習指導Ⅳ[1] 相談援助実習指導Ⅴ[1] 相談援助実習Ⅰ[3] 相談援助実習Ⅱ[3]													
		特別プログラム 応用科目	特別プログラムa(テーマ) 特別プログラムb(テーマ)													
	外国語発展科目	ロシア語 [日本語(60単位)]	ロシア語1[1] ロシア語2[1] ロシア語3[1] ロシア語4[1] 日本語演習a[1] 日本語演習b[1] 日本語演習c[1] 日本事情[1]										選択	58以上 教育上科目と専門 合算してを 除く専		
留学外国語		短期語学留学1[*] 短期語学留学2[*]														
人間育成・発達科目	キャリア科目	基本科目 [6単位]	●キャリア入門a[1] ●キャリア入門b[1]		●キャリアと人生a[1] ●キャリアと人生b[1]		就職セミナー[2]				必修/選択	10以上	・応用演習科目から4単位以上修得 設置科目数 計 科目 修得単位数 計 124単位 以上			
		発展科目 [6単位]			文章表現法[2] トップセミナーa[1] トップセミナーb[1] 時事問題特講[2]											
	応用演習科目 [16単位+]			○インターンシップ1[2] ○インターンシップ2[2] ○インターンシップ3[2] ○インターンシップ4[2]		○70型i/外型応用演習1[2] ○70型i/外型応用演習2[2] ○競争型課題解決演習1[2] ○競争型課題解決演習2[2] ○課題解決実践演習[*]										
リメディアル科目		●国語基礎1,2 ●数学基礎1,2										卒業単位外	・修得が義務			

●必修科目 ○選択必修科目

合計 124

ロカリキュラム(2021年度入学生)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	以 前 年 度	備考〔卒業要件等〕				
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター							
基礎 教育 科目	スタンダード導入科目 〔5科目〕〔8単位〕		●基礎演習a〔2〕 ●基礎演習b〔2〕 ●現代公益論Ⅰ〔1〕 ●現代公益論Ⅱ〔1〕 ●山形地域論a〔1〕 ●山形地域論b〔1〕								必修	8					
	〔3 7 科目〕 〔4 4 単位〕	外国語科目	○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ /OEAPⅠ・Ⅱ・Ⅲ 〔各1〕 /○中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 〔各1〕		○英語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ /OEAPⅣ・Ⅴ・Ⅵ 〔各1〕 /○中国語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ 〔各1〕		○英語Ⅶ/ OEAPⅦ /○中国語Ⅶ・Ⅷ 〔各1〕				選択 必修	8	・同一言語8単位必修				
		情報科目	●情報リテラシー〔2〕		●データリテラシー〔2〕		●基礎プログラミングⅠ〔2〕		●基礎プログラミングⅡ〔2〕				必修	8			
		キャリア 科目	●キャリア入門a〔1〕 ●キャリア入門b〔1〕						●キャリアと人生a〔1〕 ●キャリアと人生b〔1〕		就職セミナー〔2〕		必修 /選 択		・●科目は必修 ・共通科目と合わせて30単位以上		
							文章表現法〔2〕 トップセミナーa〔1〕 トップセミナーb〔1〕 時事問題特講〔2〕										
共通 科目	人文社会系 〔14科目〕〔16単位〕		哲学〔2〕 倫理学〔2〕 文学概論〔2〕 心理学〔2〕 日本史a〔2〕 日本史b〔2〕 西洋史a〔2〕 西洋史b〔2〕 人文地理学a〔2〕 文化人類学〔2〕 世界地誌〔2〕 法学〔2〕 政治学〔2〕 社会学〔2〕 教育学〔2〕 特別支援教育〔2〕 環境社会学〔2〕 自然地理学a〔2〕 自然地理学b〔2〕 ソーシャルワークの基礎と専門職a〔2〕 ソーシャルワークの基礎と専門職b〔2〕											選択	30 以 上		
	STEAM系 〔14科目〕〔16単位〕		英国庭園文化論〔2〕 経済学〔2〕 数学a〔1〕 数学b〔1〕 実用数学〔1〕 物理学〔2〕 天文学a〔1〕 天文学b〔1〕 統計学a〔1〕 統計学b〔1〕 医学一般〔2〕 ○日経講座：デジタル化で加速する世界の変容〔2〕 ○セキュリティ論〔1〕 ○AIと社会〔1〕 (○から2単位選択必修)														
	SDGsプログラム 〔7科目〕〔16単位〕		生涯学習論〔2〕 ジェンダー論〔2〕 貧困と福祉〔2〕 都市と交通〔2〕 食糧とエネルギー〔2〕 水と大気〔2〕 海ごみ問題と循環型社会デザイン〔2〕														
専門 教育 科目	共通専門科目 〔12科目〕〔18単位〕		○問題解決の思考法〔1〕 ○情報発信・ファシリテーションの技法〔1〕 (○から1科目選択必修) 基〕基礎簿記Ⅰ〔2〕 基礎簿記Ⅱ〔2〕 社会福祉学a〔2〕 社会福祉学b〔2〕 観光・まちづくり概論Ⅰ〔1〕 観光・まちづくり概論Ⅱ〔1〕 社会調査論a〔1〕 社会調査論b〔1〕 中〕ミクロ経済学〔2〕 マクロ経済学〔2〕											選択 必修		・○科目のどちらか選択必修 ・○科目を含む6単位以上	
	経営コース 〔41単位〕		基〕経営学基礎〔2〕 中〕経済史〔2〕 経営管理論〔2〕 経営戦略論〔2〕 経営工学a〔1〕 経営工学b〔1〕 職場のメンタルヘルス〔2〕 環境マネジメント論〔1〕 企業法務〔2〕 会計学〔2〕 管理会計〔2〕 上〕経済学特論a〔2〕 経済学特論b〔2〕 金融論〔2〕 産業組織論〔2〕 ゲーム理論〔2〕 人的資源管理論〔2〕 マーケティング論〔2〕 企業組織の心理学〔2〕 ライフサイクルアセスメント論〔2〕 企業財務分析〔2〕 非営利組織会計〔2〕											6 2 以 上 〔「発展 教育 科目と 合算して」 選択		・国際教養コースに所属する場合は、 選択した語学の語学科目はすべて必修 〔■英語、▲中国語〕 ・国際教養コース語学科目の他コース 学生の履修は以下の6科目に限る 英語科目： Advanced English Communication TOEIC(中級) TOEIC(上級) 中国語科目： 中国語会話(初級) 中国語会話(中級) 中国語検定対策Ⅰ	
	政策コース 〔38単位〕		中) 政策入門〔2〕 社会保障論a〔2〕 社会保障論b〔2〕 公的年金論〔2〕 憲法a〔1〕 憲法b〔1〕 地方自治法〔2〕 行政法〔2〕 民法Ⅰ〔2〕 国際法〔2〕 国際海洋法〔2〕 行政学〔2〕 地方自治論〔2〕 日本政治論Ⅰ〔2〕 上) 公共経営論〔2〕 公共系科目演習a〔1〕 公共系科目演習b〔1〕 民法Ⅱ〔2〕 国際関係の法と経済〔2〕 地方財政論〔2〕 日本政治論Ⅱ〔2〕														
	地域福祉コース 〔34単位〕		基) 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ〔2〕 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ〔2〕 中) ソーシャルワークの理論と方法a〔2〕 ソーシャルワークの理論と方法b〔2〕 ソーシャルワークの理論と方法c〔2〕 ソーシャルワークの理論と方法d〔2〕 高齢者福祉論〔2〕 児童・家庭福祉論〔2〕 障害者福祉論〔2〕 公的扶助論〔2〕 医療福祉論〔2〕 権利擁護と成年後見〔2〕 刑事司法と福祉〔2〕 社会福祉調査〔2〕 福祉経営論〔2〕 上) 社会政策a〔1〕 社会政策b〔1〕 福祉保健学〔2〕														
	国際教養コース 〔30単位 (ほか語学科目 18単位 (英語・中国 語各9単位))〕		基) 日本文化論〔2〕 世界経済事情〔2〕 サブカルチャー論a〔1〕 サブカルチャー論b〔1〕 中) 国際関係論〔2〕 国際協力論〔2〕 アジア経済論〔2〕 中国文化論Ⅰ〔1〕 中国文化論Ⅱ〔1〕 比較文化論Ⅰ〔1〕 比較文化論Ⅱ〔1〕 アメリカ事情〔2〕 西洋文学史〔2〕 多文化共生論〔2〕 上) 国際ビジネス論〔2〕 中国経済論〔2〕 International Economics〔2〕 海外インターンシップ〔2〕 〔語学科目〕 ■Advanced English Communication〔1〕 ■English PresentationⅠ〔1〕 ■English PresentationⅡ〔1〕 ■Intensive ReadingⅠ〔1〕 ■Intensive ReadingⅡ〔1〕 ■Academic Writing〔1〕 ■TOEIC (中級)〔1〕 ■TOEIC (上級)〔1〕 ■Intensive TOEIC〔1〕 ▲中国語会話 (初級)〔1〕 ▲中国語会話 (中級)〔1〕 ▲中国語上級講読Ⅰ〔1〕 ▲中国語上級講読Ⅱ〔1〕 ▲中国語リスニング〔1〕 ▲中国語検定対策Ⅰ〔1〕 ▲中国語検定対策Ⅱ〔1〕 ▲中国語上級講読〔1〕 ▲中国語作文Ⅰ〔1〕														
	観光・まちづくりコース 〔36単位〕		中) 観光産業論a〔1〕 観光産業論b〔1〕 観光政策論a〔1〕 観光政策論b〔1〕 国際観光論a〔1〕 国際観光論b〔1〕 自然環境の保全と共生〔2〕 中山間・離島地域論〔2〕 地域・観光資源論〔2〕 民俗学と観光Ⅰ〔1〕 民俗学と観光Ⅱ〔1〕 中心市街地の再生〔2〕 風景のデザインa〔1〕 風景のデザインb〔1〕 観光・まちづくり演習a〔2〕 観光・まちづくり演習b〔2〕 人文地理学b〔2〕 日本地誌〔2〕 上) NPO・NGO論〔2〕 第六次産業論〔2〕 社会起業家論Ⅰ〔1〕 社会起業家論Ⅱ〔1〕 余暇と観光の社会学〔2〕 グリーンツーリズム論〔2〕														
	メディア情報コース 〔37単位〕		基) ゲームデザインa〔1〕 ゲームデザインb〔1〕 ヒューマンインタフェース〔1〕 Unix演習a〔1〕 Unix演習b〔1〕 地理情報基礎演習〔1〕 画像情報処理〔1〕 マルチメディア論〔1〕 社会情報処理〔1〕 データサイエンス入門a〔1〕 データサイエンス入門b〔1〕 中) 数値情報処理a〔1〕 数値情報処理b〔1〕 情報デザイン論a〔1〕 情報デザイン論b〔1〕 計算機基礎理論〔1〕 コンピュータシステム論〔1〕 システム開発技術論〔1〕 企業活動と情報システム〔1〕 応用統計学a〔1〕 応用統計学b〔1〕 上) データベース論〔1〕 データベース演習〔1〕 情報処理特講 (情報システムa)〔1〕 情報処理特講 (情報システムb)〔1〕 インターネット論〔1〕 インターネット演習〔1〕 情報処理特講 (情報システムc)〔1〕 情報処理特講 (情報システムd)〔1〕 応用プログラミング〔1〕 データ構造とアルゴリズム〔1〕 情報処理特講 (応用数学a)〔1〕 情報処理特講 (応用数学b)〔1〕 科学メディア論a〔1〕 科学メディア論b〔1〕 情報処理特講 (応用数学c)〔1〕 情報処理特講 (応用数学d)〔1〕														
	応用演習科目 〔10科目〕		中級) プロジェクト型応用演習Ⅰ〔2〕 プロジェクト型応用演習Ⅱ〔2〕 競争型課題解決演習Ⅰ〔2〕 競争型課題解決演習Ⅱ〔2〕 課題解決実践演習〔*〕 基礎) インターンシップⅠ〔2〕 インターンシップⅡ〔2〕 インターンシップⅢ〔2〕 インターンシップⅣ〔2〕 上級) 産学連携型長期学外学修											選択 必修		・4単位選択必修	
	専 門 演 習	一般													必修	8	
		留学		○専門演習〔留学〕Ⅰa〔2〕 ○専門演習〔留学〕Ⅰb〔2〕 ○専門演習〔留学〕Ⅰc〔2〕 ●専門演習Ⅱ〔留学〕〔2〕											〔2〕	20%	・選択必修科目の必要単位数は留学期間 に応じて定める
													選択 必修				
発展 教育 科目	社会福祉士養成課程 〔11科目〕〔22単位〕		中) ソーシャルワーク演習Ⅰ〔2〕 ソーシャルワーク演習Ⅱ〔2〕 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ〔1〕 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ〔1〕 上) ソーシャルワーク演習Ⅳ〔2〕 ソーシャルワーク演習Ⅴ〔2〕 ソーシャルワーク実習指導Ⅲ〔1〕 ソーシャルワーク実習Ⅰ〔2〕 ソーシャルワーク実習Ⅱ〔3〕 ソーシャルワーク実習Ⅲ〔3〕													設置科目数 計 科目 修得単位数 計 1 2 4 単位以上	
	外国語 発展 科目 〔11 科目〕	ロシア語 日本語	初級) ロシア語Ⅰ〔1〕 ロシア語Ⅱ〔1〕 日本語演習a〔1〕 日本語演習b〔1〕 中級) ロシア語Ⅲ〔1〕 ロシア語Ⅳ〔1〕 日本語演習c〔1〕 日本事情〔1〕														
		留学外国語	短期語学留学Ⅰ〔*〕 短期語学留学Ⅱ〔*〕														
				実践外国語(期間・大学名)〔*〕													
リメディアル科目〔2科目〕		●国語基礎 ●数学基礎											卒業単位外		・修得が義務		
●必修科目 ○選択必修科目														合計	124		

●必修科目 ○選択必修科目

(3) 公益学研究科履修科目

① 修士課程

科目区分	研究領域 および 個別科目名			
基礎科目	公益学総論			
方法論科目	論文作成	統計学	社会調査論	共創の技法 情報処理論 文化交渉論 国際ビジネスコミュニケーション論
専門科目	<公共経営研究領域>	<国際ビジネス研究領域>	<地域共創・ソーシャルワーク研究領域>	<情報科学研究領域>
	公共経営研究 1 (理論経済学)	国際ビジネス研究 1	地域共創研究 1 (公共性の社会学)	情報科学研究 1 (計算理論)
	公共経営研究 2 (行政法)	国際ビジネス研究 2 (マーケティング論)	地域共創研究 2 (社会政策論)	情報科学研究 2 (情報システム)
	公共経営研究 3 (行政学)	国際ビジネス研究 3 (国際経済論)	地域共創研究 3 (多文化共生・人権論)	情報科学研究 3 (情報数理)
	公共経営研究 4 (財政学)	国際ビジネス研究 4 (金融市場論)	地域共創研究 4 (ソーシャルキャピタル論)	情報科学研究 4 (人間工学)
	公共経営研究 5 (公会計論)	国際ビジネス研究 5	地域共創研究 5 (地域デザイン論)	情報科学研究 5 (ソフトウェア論理学)
	公共経営研究 6 (NPM 論)	国際ビジネス研究 6 (国際人的資源管理)	地域共創研究 6 (NPO・非営利組織論)	情報科学研究 6 (公益ソフトウェア論)
	公共経営研究 7 (公共政策論)	国際ビジネス研究 7	地域共創研究 7 (ソーシャルビジネス論)	情報科学研究 7 (応用統計)
	公共経営研究 8 (自治体政策法務)	国際ビジネス研究 8 (コーポレートファイナンス論)	地域共創研究 8 (合意形成・コーディネート論)	情報科学研究 8 (情報セキュリティ)
	公共経営研究 9 (社会保障論)	国際ビジネス研究 9 (アジア地域経済論)	地域共創研究 9 (スクール(学校)ソーシャルワーク論)	情報科学研究 9
発展科目	現代政策分析	海外インターンシップ	スクール(学校)ソーシャルワーク演習* スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導* スクール(学校)ソーシャルワーク実習*	
	特別セミナーa	特別セミナーb	特別セミナーc	特別セミナーd
プロジェクト科目	プロジェクト a (ランドスケープ遺産として庄内平野を考える) プロジェクト b (庄内地方における内発的地域づくりー自然環境の保全と地域コミュニティの再構築) プロジェクト c (パートナーシップに基づく地域課題解決の推進) プロジェクト d			
自由科目	教育学* 教育行政* 生徒指導論* 進路指導論* 教育心理学* 教育相談の理論と方法* 精神保健学* 児童福祉論*			
演習科目	演習 I	演習 II	修士論文指導 I	修士論文指導 II

②博士後期課程

科目区分	個別科目名	単位
公益学研究特殊講義	公益学研究特殊講義 a (Advanced Academic Reading)	各 2 単位
	公益学研究特殊講義 b (公共経済学)	
	公益学研究特殊講義 c (国際関係と公益)	
	公益学研究特殊講義 d (社会政策)	
	公益学研究特殊講義 e (自治体マネジメント)	
	公益学研究特殊講義 f (Financial markets and the global economy)	
研究指導科目	研究指導Ⅰ	各 4 単位
	研究指導Ⅱ	
	研究指導Ⅲ	
	博士論文指導Ⅰ	各 0 単位
	博士論文指導Ⅱ	
	博士論文指導Ⅲ	

(4) インターンシップの実施状況

令和 3 年度春学期は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、現地派遣を行わない「課題挑戦型」に振り替え、チームで課題解決に取り組んだ。

秋学期は実習を行う「一般インターンシップ」と、現地派遣を行わない「課題挑戦型」の 2 本立てで取り組んだ。

【課題挑戦型インターンシップ 実施状況】

NO	業種	課題提示機関	課題数	チーム数	実習生 人数
1	官公庁	山形県庄内総合支庁	5	9	39
2		酒田市役所	10	16	76
3		酒田地区広域行政組合消防本部	4	5	24
4	団体	公益財団法人出羽庄内国際交流財団	1	1	3
5		鶴岡市小堅地区自治会	1	2	9
6	卸・小売	株式会社ト一屋	1	2	10
7	製造	東北日本ハム株式会社	1	2	10
8	建設	株式会社ブルー	1	1	2
9	福祉	医療法人社団みつわ会	1	1	5
10		社会福祉法人酒田市社会福祉協議会	1	1	3
11	サービス	株式会社プレステージ・インターナショナル	2	2	6
12		株式会社近畿日本ツーリスト酒田営業所	1	1	5
合計			29	43	192

【一般インターンシップ 実施状況】

N0	業種	企業・団体名	実習生人数
1	官公庁	大崎市中心中央公民館	1
2	団体	米沢商工会議所	1
3		庄内観光コンベンション協会	2
4		酒田市産業振興まちづくりセンター	3
5		奥州宇宙遊学館	1
6		認定 NPO 法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭	1
7	情報通信	株式会社ニゴロデザイン	1
8		株式会社トラパンツ	1
9	販売	トヨタカローラ山形株式会社	2
10	不動産・建設	株式会社東洋開発	2
11		株式会社ブルー	3
12	福祉	社会福祉法人酒田市社会福祉協議会	2
13	サービス その他	近畿日本ツーリスト株式会社酒田営業所	2
14		株式会社プレステージ・インターナショナル	3
15		株式会社秋田キャッスルホテル	1
16		株式会社月見 月のホテル	2
17		株式会社アークベル	2
18		一般社団法人酒田観光物産館	2
19		SMBC 日興証券株式会社山形支店	2
20		協同組合労研センター(米沢市)	1
21		東根市公益文化施設まなびあテラス	1
22		株式会社モンテディオ山形	1
23		株式会社庄交コーポレーション	6
合計			43

(5) オフィスアワーの実施状況

① 公益学部

イ 令和3年度 S1 クォーター オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室
1 時限										
2 時限	西村 まどか 小野 英一	B-4 B-2			小野 敦	地域共創 センター				
昼休み										
3 時限	灰谷 和代	E-3	フェック 渡辺 暁雄 渡辺 伸子 門松 秀樹 松尾 慎太郎 東江 日出郎 松田 憲	G-4 H-1 G-5 H-4 C-4 I-1 I-4			武田 真理子 樋口 恵佳 日比 眞一 斉藤 徹史 呉 尚浩 鎌田 剛	E-2 I-2 A-1 I-3 A-2 E-4		
4 時限	阿部 公一 呉 衛峰	H-5 F-2	澤邊 みさ子 佐藤 昭洋 山本 裕樹 白旗 希実子	A-4 A-3 I-5 F-5	渋谷 周二	D-1	スルトノフ	B-1		
5 時限	温井 亨	G-3								

ロ 令和3年度 S2 クォーター オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室
1 時限										
2 時限	西村 まどか 小野 英一	B-4 B-2			小野 敦	地域共創 センター				
昼休み										
3 時限	灰谷 和代	E-3	フェック 渡辺 暁雄 渡辺 伸子 門松 秀樹 松尾 慎太郎 東江 日出郎 松田 憲	G-4 H-1 G-5 H-4 C-4 I-1 I-4			武田 真理子 樋口 恵佳 日比 眞一 斉藤 徹史 呉 尚浩 鎌田 剛 澤邊 みさ子	E-2 I-2 A-1 I-3 A-2 E-4 A-4	カロール	C-1
4 時限	阿部 公一 呉 衛峰	H-5 F-2	小関 久恵 白旗 希実子 山本 裕樹	H-3 F-5 I-5	渋谷 周二	D-1	スルトノフ 佐藤 昭洋	B-1 A-3		
5 時限	温井 亨	G-3								

ハ 令和3年度 A1 クォーター オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室
1 時限	渋谷 周二 神田 直弥	D-1 学長室								
2 時限	西村 まどか 渡辺 伸子	B-4 G-5			小野 敦 松田 憲	地域共創 センター I-4			斉藤 徹史	I-3
昼休み										
3 時限	小野 英一	B-2	フェック 渡辺 暁雄 東江 日出郎 門松 秀樹 松尾 慎太郎	G-4 H-1 I-1 H-4 C-4			武田 真理子 樋口 恵佳 日比 眞一 広崎 心 呉 尚浩 鎌田 剛 バンティング スルトノフ	E-2 I-2 A-1 A-5 A-2 E-4 D-2 B-1	カロール	C-1
4 時限	小関 久恵 呉 衛峰	H-3 F-2	灰谷 和代 白旗 希実子 山本 裕樹 三木 潤一 澤邊 みさ子	E-3 F-5 I-5 学部長室 A-4			佐藤 昭洋	A-3	温井 亨 新名 阿津子	G-3 D-4
5 時限	阿部 公一	H-5								

ニ 令和3年度 A2 クォーター オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室
1 時限	神田 直弥	学長室								
2 時限	西村 まどか 渡辺 伸子	B-4 G-5			小野 敦	地域共創 センター			斉藤 徹史	I - 3
昼休み										
3 時限	小野 英一 渋谷 周二	B-2 D-1	フェック 渡辺 暁雄 東江 日出郎 門松 秀樹 松尾 慎太郎 三木 潤一	G-4 H-1 I-1 H-4 C-4 学部長室			武田 真理子 樋口 恵佳 日比 眞一 広崎 心 呉 尚浩 鎌田 剛 バンティング スルトノフ	E-2 I-2 A-1 A-5 A-2 E-4 D-2 B-1	カロール	C-1
4 時限	小関 久恵 呉 衛峰	H-3 F-2	灰谷 和代 白旗 希実子 山本 裕樹 松田 憲 澤邊 みさ子	E-3 F-5 I-5 I-4 A-4			佐藤 昭洋	A-3	温井 亨 新名 阿津子	G-3 D-4
5 時限	阿部 公一	H-5								

② 公益学研究科

氏名	職位	科目	オフィスアワー	場所
神田 直弥	学長 教授	人間工学	月曜 7 時限 授業後 10 分	授業教室
武田 真理子	研究科長 教授	共創の技法、社会政策論、SSW 実 習指導、SSW 実習	火曜 6 時限 授業後 10 分	授業教室
三木 潤一	学部長 教授	財政学	木曜 7 時限 授業後 10 分	授業教室
温井 亨	教授	プロジェクト a	授業日 最終授業後 10 分	授業教室
澤邊 みさ子	教授	論文作成法、プロジェクト b	担当回の 授業後 10 分	授業教室
呉 尚浩	教授	プロジェクト b	授業日 最終授業後 10 分	授業教室
松田 憲	教授	論文作成法	担当回の 授業後 10 分	授業教室
広瀬 雄二	教授	情報処理論	水曜 6 時限 授業後 10 分	授業教室
ジハン シャザ ダ ナイヤール	教授	コーポレートファイナンス論、 Advanced Academic Reading	金曜 7 時限 授業後 10 分	授業教室
小野 英一	教授	行政学	火曜 6 時限 授業後 10 分	授業教室
スルトノフ ミルズサイド	教授	金融市場論、アジア地域経済論、 Financial market and the global economy	土曜 1 時限 授業後 10 分	授業教室
松山 薫	准教授	論文作成法	担当回の 授業後 10 分	授業教室
斉藤 徹史	准教授	行政法	授業日 最終授業後 10 分	授業教室
西村 まどか	准教授	情報数理	火曜 7 時限 授業後 10 分	授業教室
山本 裕樹	准教授	統計学	木曜 6 時限 授業後 10 分	授業教室
玉井 雅隆	准教授	海外インターンシップ 国際関係と公益	水曜 6 時限 授業後 10 分	授業教室
白旗 希実子	准教授	論文作成法	担当回の 授業後 10 分	授業教室
酒井 計史	非常勤講師	社会調査論	授業開始前・ 終了後 10 分	授業教室
加留部 貴行	非常勤講師	共創の技法	授業開始前・ 終了後 10 分	授業教室
和田 明子	非常勤講師	海外行政研究	授業開始前・ 終了後 10 分	授業教室
岡本 三彦	非常勤講師	海外行政研究	授業開始前・ 終了後 10 分	授業教室
馬場 健	非常勤講師	海外行政研究	授業開始前・ 終了後 10 分	授業教室
滝口 克典	非常勤講師	多文化共生・人権論	授業開始前・ 終了後 10 分	授業教室
青木 孝弘	非常勤講師	NPO・非営利組織論	授業開始前・ 終了後 10 分	授業教室
和川 央	非常勤講師	現代政策分析	授業開始前・ 終了後 10 分	授業教室

(6) 研究実績報告

氏 名	神 田 直 弥
職位・コース	教授・メディア情報コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦 年 (元号併記)	発表者名 (共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	高齢者講習後の行動目標 設定が高齢ドライバーの 補償運転と車利用削減に 及ぼす影響	東北公益文科大学総合研 究論集	No. 41, 3-23	2021	神田直弥・本間新大	
口頭発表等 (招待講演・学会発表等)						
1	統計で見る人間工学誌の 特色 (日本人間工学会シ ンポジウム)	人間工学	57 巻 Supplement 号 1p.	2021	榎原毅・神田直弥・齋藤 誠二・松木太郎・村木里 志	オンラ イン
2	区切りの年齢での運転免 許返納を促進する要因に ついて	日本交通心理学会2021年 度 (第18回) 千葉大会発 表論文集	No. 18, 4p.	2021	武田翔平・神田直弥	オンラ イン

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等	
・ 日本交通心理学会 会員 ・ 日本人間工学会 会員 ・ 日本心理学会 会員 ・ 日本プラントヒューマンファクター学会 会員 ・ Human Factors and Ergonomics Society Full Member ・ 日本交通科学学会 会員 ・ 航空運航システム研究会 会員	
②各種学会における活動状況	
日本交通心理学会編集委員 (平成26年～) 日本交通心理学会運営委員 (平成29年～) 日本人間工学会編集委員 (平成30年～)	

3-3. 研究資金獲得状況

科研費関 係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別： 不採択 (2021) 種別： 未定 (2022)	円 円
受託事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	2 件	遊佐町 (公共経営研究所にて実施) 酒田市 (公共経営研究所にて実施)	968, 000 円 1, 438, 543 円

4. その他

地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 中学生の自転車利用時における事故防止に係る交通安全教育手法の開発 (国際交通安全学会プロジェクト研究)
--------	--

氏 名		三木 潤一				
職位・コース		教授・経営コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	Sequential ambulance dispatch models for optimizing emergency medical services	JSIAM Letters (Japan Society for Industrial and Applied Mathematics)		2021年3月に 行った学会報告 に基づく資格に より投稿中	Yujiro Kawasaki, Shigeki Hagihara and Jun'ichi Miki	
紀要等						
1	「遊佐町総合発展計画 後期基 本計画策定支援業務 町民意識 調査」	調査研究業務受託（遊佐 町）報告書		2021年10月 (令和3年)	東北公益文科大学 公共経営研究所（所長）	
2	「市民アンケート調査分析等」	調査研究業務受託（酒田 市）報告書		2022年3月 (令和3年) (予定)	東北公益文科大学 公共経営研究所（所長）	
3	「令和3年度 庄内地域転 入超過「強み」分析に関 する調査研究」	調査研究業務受託（山形 県）最終報告書		2022年3月 (令和3年) (予定)	三木潤一・小嶋健太・川 崎雄二郎	
4	「令和3年度 酒田市観光 に関する調査研究」	調査研究業務受託（酒田 市）報告書		2022年3月 (令和3年) (予定)	三木潤一・小嶋健太・川 崎雄二郎	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	「令和2年度酒田市観光 に関する調査研究」	令和元年度酒田市観光に 関する調査研究報告会 (酒田市役所) 調査研究内容報告		2021年 (令和3年) 5月	三木潤一・小嶋健太・川 崎雄二郎	対面
2	「令和3年度庄内地域転 入超過「強み」分析に関 する調査研究」	令和3年度第1回庄内地域 「若者定着促進会議」 (山形県庄内総合支庁) 調査研究内容報告		2021年 (令和3年) 7月	三木潤一・小嶋健太・川 崎雄二郎	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本財政学会 日本地方財政学会 廃棄物資源循環学会 日本経済学会						
②各種学会における活動状況						
東北公益文科大学・関西学院大学・関西大学・名古屋工業大学の教員による関西学院大学産業研究所共同研究プロジェクト『地 域活性化の経済分析：官と民の力を活かす』研究成果報告会を主催・報告（2022年3月5・6・7日、インキュベーション施設 Lighthouse（山形県酒田市新橋2丁目26-20））						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有	種別： 令和3年度（2021年度）基盤研究 (C)（一般）採択		4,160,000 円 内2021年度配分額 2,080,000 円		
		種別：		円		
受託研究 関係	件数	契約先名		契約金額		
	4 件	山形県庄内総合支庁（転入超過関係）		593,000 円		
		酒田市（観光関係）		400,000 円		
		酒田市（総合計画関係）		1,438,543 円		
		遊佐町（総合発展計画関係）		968,000 円		
民間機関 等共同研 究	件数	契約先名		契約金額		
	1 件	株式会社丸高（2020・2021年度）		605,000 円		
				円		
その他外 部資金	件数	契約先名		契約金額		
	2 件	ほくとう総研		500,000 円		
		関西学院大学産業研究所		162,000 円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 調査研究業務受託（酒田市）「令和3年度酒田市観光に関する調査研究」に研究代表者として取り組み、令和4 年度以降も継続の予定である。 令和2年度から継続して、産学連携で株式会社丸高と共同研究「酒田市におけるコンパクトシティ化の検討」 に研究代表者として取り組んでいる。 ほくとう総研地域活性化連携支援事業（北海道東北地域経済総合研究所）「地方公共サービスの民間委託にお けるホールドアップ問題—生活系ごみ収集サービスに関する理論的および実証的考察—」に研究代表者として取 り組んで知る。 調査研究業務受託（山形県庄内総合支庁）「令和3年度庄内地域転入超過「強み」分析に関する調査研究」に 研究代表者として取り組み、令和4年度も継続の予定である。 調査分析等業務受託（酒田市）「市民アンケート調査分析等」、および策定支援業務受託（遊佐町）「遊佐町 総合発展計画 後期基本計画策定支援」をマルチプロジェクト研究機構「公共経営研究所」として引き受け、研 究所長として取り組んだ。					

氏 名		武田 真理子				
職位・コース		教授・地域福祉コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著者名	発表学会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦年 (元号併記)	発表者名 (共同発表の場合は 論文等に記載した順に本人も 含め記入)	開催 形態
1 「アメリカにおけるスクールソーシャルワーカーの質保証及び大学院教育に関する一考察」 東北公益文科大学総合研究論集 第41号 pp. 25-45 2021年7月30日 武田真理子						
総説・解説等						
1 「ニュージーランド：世界を先導する＜小さな大国＞」『オセアニア文化事典』 丸善出版 未定 2023年4月刊行 予定 武田真理子 (棚橋訓編集委員長)						
2 「第3章 就労的活動支援コーディネーターの役割と期待」『「しごとづくり」でつながる（高齢者社会参加のあり方）—地域づくりにおける高齢者の就労的活動支援—』 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター 未定（4ページ） 2022年3月刊行 予定 武田真理子 (特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター編)						
国際会議発表論文等						
1 Study on the Role of University Faculty Staff in Community Social Work Education in Japan: A Proposal of 'SDGs Practice-Education Hybrid Model' The 26th Asia-Pacific Regional Social Work Conference (IFSW/APASWE/AASW) 査読有 プロシーディングス無 2021年11月12日 武田真理子、鎌田剛 オンライン						
口頭発表等 (招待講演・学会発表等)						
1 「ニュージーランドの社会保障制度とコロナ危機」 日本ニュージーランド学会第28回研究大会 公開シンポジウム「COVID-19とニュージーランド～政治文化、地域レジリエンス、社会保障の視点から日本が学べること～」 2021年6月19日 武田真理子 オンライン						
2 「これからの地域づくりと地域運営組織の役割」 庄内町第一学区地域運営組織「18ネットワーク」設立総会記念講演 2021年11月3日 武田真理子 対面						
3 「アードン政権下のCOVID-19対策」 令和3年度 ニュージーランド学会 研究大会 2021年12月4日 武田真理子 オンライン						
4 「ニュージーランド・カンタベリー地震の復興過程と住居の保障」 神戸大学都市安全研究センター・RCUSSオープンゼミナール 2021年12月25日 武田真理子 オンライン						
5 「＜就労的活動支援コーディネーター＞ガイドブック作成に向けた論点整理」 厚生労働省令和3年度老人保健健康増進等事業「東北地方の中山間地域における高齢者の日常的な交流・社会参加活動の支援と就労的活動支援コーディネーターの活用促進に関する調査研究」第3回研究会 2021年11月21日 武田真理子 オンライン						
6 「庄内から考えるSDGs～私たちが描く持続可能な地域社会とは～」 やましんSDGsセミナー 2022年3月10日 武田真理子 対面						
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本ニュージーランド学会、社会政策学会、日本社会福祉学会、日本公益学会						
②各種学会における活動状況						
日本ニュージーランド学会においては副会長としてコロナ禍の学会運営及び研究会の開催に貢献した。						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有・無	種別： 基盤研究C		270,000 円		
		種別：		円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ニュージーランド研究所として、酒田市オリンピック・パラリンピック・ホストタウン推進協議会への参画、酒田市政及び酒田市民のニュージーランドとの交流と国際化の推進に貢献をした。 また、(3)の「地域共創コーディネーター養成プログラム」の評価及び地域人材育成の方法に関する研究については、同プログラム運営委員会の協力を得て、これまでの7年間の記録作成と実績報告の準備に取り組んだ。同プログラムの研究及び人材育成の成果として、初の庄内南部定住自立圏合同研修（鶴岡市、三川町、庄内町の職員研修）の実施と評価、朝日中央自治振興会「チームWagesho」における地域課題解決の伴走支援とその記録などにも取り組んだ。 年度当初に計画していなかった研究・活動としては、大学院におけるスクールソーシャルワーク教育に関する研究成果を論文として発表し、大学院修了生等とともに初の庄内教育事務所教育相談・スクールソーシャルワーク合同研修の開催し、研究成果を活用することができた。					

氏 名		温井 亨			
職位・コース		教授 観光・まちづくりコース			
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)
学協会誌等					
査読無し学術論文等					
1	東北の町家の類型化と都市建築としての評価	都市史学会誌『都市史研究』第8号、山川出版社	P. 131	2021(令和3)年	温井 亨
口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	歴史公園の魅力アップで記念館の来訪者を増やす ～公園の課題を発見し改善策を考える～	鶴岡市東田川文化記念館	活用ワークショップ	2021(令和3)年11月20日	温井 亨
2. 学会活動に関する業績					
①所属学会等					
日本造園学会、日本建築学会、日本都市計画学会、和食文化学会、都市史学会					
②各種学会における活動状況					
日本造園学会：ランドスケープ遺産インベントリー作成委員、東北支部運営常任委員、研究発表論文集校閲委員(査読1件)、全国大会参加(5月宮城オンライン、ミニフォーラムは主催者委員として参加)、東北支部運営委員会(メール会議2回、対面1回)、東北支部大会参加(10月米沢市) 日本建築学会：全国大会参加(オンライン)。 和食文化学会：研究大会参加(オンライン)。 都市史学会：学会誌『都市史研究』第8号に昨年度大会研究発表要旨を掲載。					
3. 研究資金獲得状況					
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額	
	有	種別： 基盤研究(C)		130,000 円	
		種別：		円	
4. その他					
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・在来作物研究会会員(山大農学部で行われた研究大会に参加)。 ・庄内町郷土史研究会会員(今年は参加できず)。				

氏 名	澤邊 みさ子
職位・コース	教授・地域福祉コース
2. 学会活動に関する業績	
①所属学会等 社会政策学会、日本社会福祉学会、日本公益学会、日本ニュージーランド学会、日本職業リハビリテーション学会、北ヨーロッパ学会	
②各種学会における活動状況 日本ニュージーランド学会： 事務局長（2018年6月～）、会計（2021年6月～） 日本公益学会： 理事（2012年4月～）	
4. その他	
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・酒田市宮野浦学区における防災マップ作成のためのフィールドワーク調査（プロジェクト型応用演習（春学期））

氏 名	阿部 公一					
職位・コース	教授・政策コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)	開催形態
紀要等						
1	統計的把握による第1号被保険者に対する年金教育的課題―「公損私得」の意識に誘引される国民年金過小評価と滞納行動―	東北公益文科大学 総合研究論集	第42号 3～32頁	2022年 (令和4年)	阿部公一	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等 日本年金学会 他						
②各種学会における活動状況 本年度においては、オンラインにより日本年金学会研究発表会に参加した。						
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 地域に対する年金教育の研究活動及び酒田市関連の委員会活動を通じて、「酒田市の国民健康保険」「社会教育行政のあり方」に関して取り組んでいる。					

氏 名		呉 衛 峰				
職位・コース		教授・国際教養コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	中国語圏における俳句の 影響について――俳句の 中国語訳を中心に(その 四)	東北公益文科大学 総合研究論集	第41号・(1) - (13)	2021/7/1 (令和3年)	呉衛峰	
2	台湾現代詩における俳句 の影響について――一九 九〇年代前半の中国語俳 句ブームを中心に	東北公益文科大学 総合研究論集	第42号・(1) - (20)	2022/1/1 (令和4年)	呉衛峰	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	中国語圏短詩型における 俳句の影響について―― 1990年代以降を中心 に	日本比較文学会 東京支部例会		2021/5/15 (令和3年)	呉衛峰	オンラ イン
2	日本俳句及其在中国的訳 介	山東青年政治学院 外国語学院	招待講演	2021/12/17 (令和3年)	呉衛峰	オンラ イン
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本比較文学会、東大比較文学会、東方学会、日本中国学会、日本近代文学会						
②各種学会における活動状況						
日本比較文学会学会賞選考委員会実務委員として、2021年度の学会賞選考のため、同委員会へ新刊学術書籍を若干冊推薦した。						

氏 名		呉 尚 浩				
職位・コース		教授 観光・まちづくりコース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
著書(翻訳含む)及び辞書等						
1	「飛鳥」の項目	長嶋俊介・渡辺幸重監修 『新刊日本の鳥事典』三 交社		2022年5月27日 発売予定	須山聡・呉尚浩・岸本誠司	
学協会誌等						
査読無し学術論文等						
1	「ジオパークが創る飛 鳥・佐渡島・粟島の三島 交流の新たな展開」	日本島嶼学会 2021 年次 気仙沼大島大会要旨集	pp. 25-26	2021年9月	呉尚浩・岸本誠司	
2	「海洋ごみ問題解決のた めの多様な主体の共創 —山形における『裸足で 歩ける庄内海岸』実現に 向けての挑戦—」	『公益学研究』(特集: 沿岸・海洋管理における 国際公益の追求—「国連 持続可能な開発のための 海洋科学の10年」を題材 として—/日本公益学 会)	Vol. 21	2022年9月刊行 予定(投稿済 み)	呉尚浩・樋口恵佳・金子 博・大谷明	
総説・解説等						
1	「実行委員会関係者の声 飛鳥クリーンアップ作戦 20 回に寄せて」	『飛鳥クリーンアップ作 戦20年活動報告書』第 21 回飛鳥クリーンアッ プ作戦実行委員会	p. 2	2021. 11	呉尚浩	
2	「歴史に刻まれる 新しい松林との 関係づくり」	『松林協働—20年のあゆ み』万里の松原に親しむ 会 (20周年記念誌)	p. 19	2021. 6	呉尚浩	
	「【地域共創センター】 海と川のつながりから 「ごみ問題」を考え、行 動しよう! 一庄内の若者 から「ごみゼロ」の文化 を育む (1)」	『公益大ニュース』	Vol. 6、p. 10	2021. 8	呉尚浩	
3	「【地域共創センター】 海と川のつながりから 「ごみ問題」を考え、行 動しよう! 一庄内の若者 から「ごみゼロ」の文化 を育む (2)」	『公益大ニュース』	Vol. 7、p. 8	2021. 12	呉尚浩	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	「ジオパークが創る飛 鳥・佐渡島・粟島の三島 交流の新たな展開」	日本島嶼学会 2021 年次 気仙沼大島大会		2021. 9. 5	呉尚浩・岸本誠司	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本環境社会学会 日本公益学会 日本海岸林学会 日本沿岸域学会 地区防災計画学会 庄内・社会基盤技術フォーラム(土 木学会認定CPOプログラム) 東北ジオパーク学術研究者会議						
②各種学会における活動状況						
○ 委員 ・ 庄内社会基盤技術フォーラム・運営委員 ○ 口頭報告 ・ 日本島嶼学会「2021 年次気仙沼大島大会」オンライン開催・口頭報告(2021. 9. 5) ○ 論文執筆 ・ 日本公益学会『公益学研究』誌に論文を執筆(3-1研究発表欄に記載) ○ 学会・研究会参加 ・ 日本環境社会学会「第63回大会」オンライン開催・参加(2021. 6. 12-13) ・ 第7回東北ジオパーク学術研究者会議・オンライン開催・参加(2020. 9. 11) ・ 日本海岸林学会「東日本大震災後10年を契機とした将来の海岸林の方向性と今後の活動に向けての提案」オンライン開催・参 加(2021. 8. 28) ・ 日本海岸林学会「宮城大会・現地見学会」現地参加(2021. 10. 2) ・ 日本海岸林学会「宮城大会」オンライン開催・参加(2021. 10. 23) ・ 地区防災計画学会「第8回大会」オンライン開催・参加予定(2021. 3. 5)						
3. 研究資金獲得状況						
その他外 部資金	件数	契約先名		契約金額		
	件	酒田市「地域IT人材等育成委託事業」 (地域共創センター受託、防災・環境部 会として「地域防災人材育成プログラ ム」を実施。呉は、部会長)		円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 酒田市「地域IT人材等育成委託事業」(研究調査の内容を含む)など多数。					

氏 名		松田 憲				
職位・コース		教授・国際教養コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦 年 (元号併記)	発表者名 (共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
1 短期オンライン留学のアンケート分析 東北公益文科大学総合研究論集 第42号、pp. 109-119 2022年 (令和4年) 松田 憲						
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等 日本比較文化学会、大学英語教育学会、全国語学教育学会、外国語教育メディア学会 Teachers of English to Speakers of Other Languages International Association						
②各種学会における活動状況 ・ JACET第60回記念国際大会 (2021/8/28-29、オンライン開催・参加)						

氏 名		古山 隆				
職位・コース		教授・経営コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦 年 (元号併記)	発表者名 (共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
1 エアテーブル選別機を用いた廃自動車シュレッダーダスト (ASR) からの非鉄金属の回収におけるテーブル振動数の影響 東北公益文科大学総合研究論集 第42号、p. 121-136 2022年 (令和4年) 古山 隆						
3 - 2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等 自動車技術会、環境資源工学会、資源・素材学会、日本鉱業史研究会、日本LCA推進機構						
②各種学会における活動状況 自動車技術会 幹事、環境資源工学会 評議員						
3 - 3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有	種別： 基盤研究 (C)		0 円		
		種別：		円		

氏 名		広瀬 雄二				
職位・コース		教授・メディア情報コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦 年 (元号併記)	発表者名 (共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
口頭発表等 (招待講演・学会発表等)						
1	山形県酒田市国指定最上 川河口鳥獣保護区域にお ける探鳥マップの作成と 活用法	認定NPO法人バードリサー チ	鳥類学大会2021	12月18日	歌岡大祐 井上稜也 増子 圭吾 岩城勇太 海谷一彰 佐藤陸玖 佐藤鉄平 若山 奈月 梅津美瑛 荘司風輝 長船裕紀 広瀬雄二	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
情報処理学会、デジタルアーカイブ学会						
3-3. 研究資金獲得状況						
受託事業 関係	件数	契約先名		契約金額		
	1 件	科学技術振興機構 (JST) ジュニアドクター育成塾実施責任者		10,000,000 円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) (大学院) (株) プロトソリューションとの地域課題解決包括連携協定					

氏 名		小野 英一				
職位・コース		教授・政策コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
著書(翻訳含む)及び辞書等						
1	①ローカルデモクラシー ②世代間格差・対立 ③少子高齢化・過疎化	討議事例から考える 「公共」の授業 (清水書院)	①pp. 119-131 ②pp. 180-195 ③pp. 196-205	2021年 (令和3年)	小野英一	
学協会誌等						
査読無し学術論文等						
1	雪を活かした地域活性化 —山形県大蔵村の事例を もとに—	地域活性研究 (地域活性学会)	vol. 15 pp. 219-226	2021年 (令和3年)	小野英一	
2	「スポーツまちづくり」 に関する一考察— 山形 県長井市の「けん玉のま ちづくり」を事例として —	地域活性研究 (地域活性学会)	vol. 16 (3月に発行予 定)	2022年 (令和4年)	小野英一	
3	山形県大蔵村における雪 を活かした地域活性化の 取り組みについて—「公 益学」に依拠した考察—	第33回ゆきみらい研究発 表会 応募本論文 (国土交通省北陸地方整 備局)	pp. 1-6	2022年 (令和4年)	小野英一	
⑤総説・解説等						
1	自治体職員の兼業—その 制度と実態—	自治大からの情報発信 (総務省自治大学校)	vol. 24 pp. 2-5	2022年 (令和4年)	小野英一	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
地方行政実務学会、日本公益学会、日本地域政策学会、地域活性学会、日本行政学会、日本公共政策学会、自治体学会、 非営利法人研究学会、						
②各種学会における活動状況						
地方行政実務学会：理事 日本公益学会：理事 日本地域政策学会：編集委員会、東北支部事務局次長 地域活性学会：東北支部副支部長						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有・無	種別：		円		
		種別：		円		
受託研究 関係	件数	契約先名		契約金額		
	2 件	遊佐町（※公共経営研究所として受託）		968,000 円		
		酒田市（※公共経営研究所として受託）		1,438,543 円		

氏 名	Sultonov Mirzosaid					
職位・コース	教授・国際教養コース					
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦 年 (元号併記)	発表者名 (共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	External Shocks and Volatility Overflow among the Exchange Rate of the Yen, Nikkei, TOPIX and Sectoral Stock Indices	Journal of Risk and Financial Management	14 (560)	Nov. 2021	Sultonov M.	
査読無し学術論文等						
1	Content-Based Language Teaching in International Liberal Arts Education	The Asian Conference on Education & International Development 2021 Official Conference Proceedings	2021 Official Conference Proceedings	Mar-21	M. Sultonov, T. Bunting, J. Arskaya	
国際会議発表論文等						
1	"Content-based language teaching in international liberal arts education"	The Asian Conference on Education and International Development (ACEID2021)	Tokyo	Mar-21	M. Sultonov, T. Bunting, J. Arskaya	
2	"Japan's trade and investment prospects in Central Eurasia"	The 12th International Convention of Asia Scholars	Kyoto	Aug-21	M. Sultonov	
3	External shocks and volatility spillover effect among exchange rate of yen, TOPIX index and sectoral stock indices	The 20th International Conference of the Japan Economic Policy Association	Tokyo	Nov-21	M. Sultonov	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
比較経済体制学会 (会員) Japan Economic Policy Association (会員) World Economic Association International (会員) International Conference of Japan Economic Policy Association (member of organizing committee) International Journal of Economic Policy Studies (member of editorial board) Journal of Social Indicators Research (referee) Journal Applied Economics (referee) Journal of Reviews on Global Economics (referee) Journal of Sustainability (referee) Journal of International Risk Management (referee).						

氏 名		渡辺 暁雄				
職位・コース		准教授 観光・まちづくりコース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦 年 (元号併記)	発表者名 (共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
1 ライフストーリー・イン タビューにおける対話的 構築主義とその批判に関 して 東北公益文科大学総合研 究論集 第42号 pp. 33-48 2022 (令和4) 年1月31日) 渡辺暁雄						
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本社会学会, デジタルアーカイブ学会, 日本生活学会, 社会文化学会, 日本公益学会						
②各種学会における活動状況						
大会・研究会・特別企画等へのオンライン参加						
4. その他						
地域課題関係		(地域課題解決のための研究・活動状況) ・鶴岡市加茂地区の地域振興に関する活動 (加茂ランドデザイン推進事業)				

氏 名		東江 日出郎				
職位・コース		准教授・国際教養コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦 年 (元号併記)	発表者名 (共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	バイデン政権とフィリピン外交	東アジア共同体・沖縄（琉球）研 究会『東アジア共同体・沖縄（琉 球）研究』	第5号	2021年11月		
2	米中等の大国の緊張緩和と軍縮の責任――東南 アジアの視点から――	国際東アジア共同体学会 『グローバルアジア・レビュー』 第 12 号	第 12 号	2022年3月		
紀要等						
1	ミンダナオにおける民族紛争と和平努力: 問題の背景、展開、そしてアキノ政権までの 和平努力	東北公益文科大学『総合研究論 集』	第41号	2021年7月		
2	ドゥテルテ政権におけるミンダナオと平和の 展開 (2016年7月～2021年5月)	東北公益文科大学『総合研究 論集』	第42号	2022年1月		
口頭発表等 (招待講演・学会発表等)						
1	「ミンダナオにおける和平と開発の 現状と課題、そして展望」	日本平和学会		2021年5月		
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本平和学会、日本人間の安全保障学会、国際東アジア共同体学会、東アジア共同体・沖縄（琉球）研究会						
②各種学会における活動状況						
東アジア共同体・沖縄（琉球）研究会では、執行委員だったが、事務局長に2021年の総会で事務局長に就任した。また、平和学会 では、5月に口頭発表を行った。						

氏 名		日比 眞一				
職位・コース		准教授・地域福祉コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著者名	発表学会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)	開催形態
紀要等						
1	大学院修士課程にスクールソーシャルワーク教育課程を設置する価値についての考察	東北公益文科大学総合研究論集	第41号	2021(令和3)年	日比眞一	
2	社会福祉士を保有するスクールソーシャルワーカーが示す専門性についての考察 ～山形県の調査をもとに～	東北公益文科大学総合研究論集	第42号	2022(令和4)年	日比眞一	
3						
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	大学院修士課程におけるスクールソーシャルワーカー養成	日本福祉福祉学習支援学会	第22回学術大会 長崎国際大学	2021(令和3)年9月	日比眞一	
2	社会福祉士を保有するスクールソーシャルワーカーが示す専門性についての考察 ～山形県の調査をもとに～	日本社会福祉学会東北部会	第20回研究大会 東北福祉大学	2021(令和3)年11月	日比眞一	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本社会福祉学会、日本福祉教育・ボランティア学習学会、日本福祉図書文献学会、日本福祉学習支援学会、山形県社会福祉士会、山形県権利擁護センターばあとなあ、山形県レクリエーション協会						
②各種学会における活動状況						
・日本福祉学習支援学会第22回学術大会で発表(9月)。 ・日本社会福祉学会東北部会第20回研究大会で発表(11月)。 ・日本福祉図書文献学会の東北ブロック理事 ・日本福祉学習支援学会の東北ブロック担当 ・山形県社会福祉士会の庄内ブロック理事 ・認定社会福祉士の専門性を調査するために講座の受講を進めたい。実地で自らも学修者として参与観察に取り組みたい。 ・成年後見制度に関する社会福祉士の役割や専門性を調べたい。ばあとなあに所属して情報を得ていく。 ・会に所属していないが、老人福祉施設協議会とのつながりを探したい。施設SWの調査の端緒を得たい。 ・山形県レクリエーション協会とつながりを探したい。介護施設等で実施されているレクリエーションについて実態を調べる。ADLが低下した施設入居者のQOLの維持・拡大をどのように思索するのか、実践から考察していく。						
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・山形県社会福祉協議会監事役員 山形県社協の事業が適正な運営がなされているか、書類確認や職員の方との面接等を行う監査業務に従事する。また、新たな取り組み等について学識経験者として相談に応じている。 ・山形県社会福祉会理事 県士会の理事として社会福祉士実習の担当者に任ぜられた。社会福祉士実習について県内の課題を集約していきたい。何を取り組むべきか調査等を進めていく。 ・社会福祉法人光風会評議員 地域の中核施設である光風会グループの適正な運営に資する。高齢者、障がい者に関連する地域の課題に取り組む。 ・山形県権利擁護センターばあとなあ 酒田市長申し立ての成年後見をばあとなあを通して受任した。成年後見、そして未成年後見の専門職後見人へのニーズは高まっており、ばあとなあ登録者だけでは不足しないこともある。今後の地域課題として取り組む必要がある。 ・山形県レクリエーション協会 山形県の介護施設等で実施されているレクリエーションについて実態を調べる。ADLが低下した施設入居者のQOLの維持・拡大をどのように思索するのか、実践から考察していく。 ・山形県立鶴岡南高等学校通信制学校評議員 通信課程の運営について評議を行う。全日制高校と違う様々な課題について取り組む。調査したスクールソーシャルワーク等の知見も活用したい。 ・社会福祉法人山形県社会福祉事業団経営改革評価検証委員 社会福祉法人は準市場と呼ばれるフィールドで経営される。利潤追求の理論だけでは成立しない。独自の経営理論が求められる。また、特に介護人材については確保が難しく喫緊の課題である。					

氏 名		松山 薫				
職位・コース		准教授 観光・まちづくりコース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦 年 (元号併記)	発表者名 (共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
総説・解説等						
1	地図から掘り起こす地域 資源 第7回 旧羽黒町 (鶴岡市)	Future Sight	(93) 6-7	2021 (令和3年)	松山 薫	
口頭発表等 (招待講演・学会発表等)						
1	映画のロケ地における持続 可能な地域活性化への取組 みー鹿児島県南さつま市秋 目を例にー	日本観光研究学会東北支 部大会		2021 (令和3年)	山口泰史・松山 薫	オンラ イン
2	歴史地理学からみる熊本 市の拠点性	熊本学園大学経済学部 「講座熊本」外部講師		2021 (令和3年)	松山 薫	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等 (必須)						
日本地理学会, 人文地理学会, 歴史地理学会, 経済地理学会, 東京地学協会, 東北地理学会, お茶の水地理学会, 軍事史学会, 日本アイランド協会, 日独協会, 日本地図学会, 日本観光研究学会, 山形県地域史研究協議会, 日本地域政策学会, 山形歴史たてもの研究会						
②各種学会における活動状況						
日本地理学会交流専門委員会委員						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	①有・無	種別: 基盤研究 (C)		1, 950, 000 円		
		種別:		円		
その他外 部資金	件数	契約先名		契約金額		
	1 件	熊本学園大学産業経営研究所 調査研究費 助成		1, 080, 000 円 円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 遊佐町吹浦の「日輪講堂」保存へ向けての学術的協力。					

氏 名	広崎 心					
職位・コース	准教授・経営コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦 年 (元号併記)	発表者名 (共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	地方自治体における中小 企業の海外進出支援	亜東経済国際学会叢書	24巻 141-151	2021年3月 (予 定)	広崎心	
口頭発表等 (招待講演・学会発表等)						
1	東北亜福祉ビジネスと 産業経営国際学術会議	亜東経済国際学会		2021年12月	広崎心	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本経営学会、産業学会、アジア経営学会、経済地理学会、日本マーケティング学会、商品開発・管理学会、実践経営学会						
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 庄内地域におけるサプライチェーンマネジメントの方向性についての研究に着手 庄内地域における商工会・商工会議所の活動実態についての研究に着手					

氏 名	西村 まどか		
職位・コース	准教授・メディア情報コース		
2. 学会活動に関する業績			
①所属学会等			
JPS, IPSJ, IEEE			
②各種学会における活動状況			
ほとんど何も活動できなかったが、図書館での展示の際に、図書館スタッフの協力のもと、JPS の記事を公開し、機械学習の啓蒙に役立つ展示が行うことができた。ともかく無計画な計画には参加せず、オンライン授業になる準備を常にし続け、研究に還元させるための体制と、他の組織でも通用する実用性について考えていきたい。			
3. 研究資金獲得状況			
科研費関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別：C 不明 種別：	円 円
4. その他			
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 循環型委員会委員長 (共同火力関係者によるNP0、県庁との石炭灰の利活用に関する会合)		

氏 名		灰谷 和代				
職位・コース		准教授・地域福祉コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	オンライン活用によるソー シャルワーク実習の可能性	東北公益文科大学総合研究論 集	(41) P123-136	2021年7月	灰谷和代(単)	
総説・解説等						
1	FORUM21開催報告 子どもと家庭の支援を考えよ うー保育の現場から地域へー	東北公益文科大学総合研究論 集	(42) P157-165	2022年1月	灰谷和代、他4名	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	保育現場における「気づき」 の蓄積と可視化による効果ー アセスメントツールの活用実 践からー	日本子ども家庭福祉学会 第 22回全国大会	自由研究発表	2021年9月	灰谷和代(単)	
2	保育現場における予防も含め た児童虐待対応について考え るー早期発見・早期連携をめ ざしてー	日本子ども虐待防止学会 第 27回学術集会かながわ大会	公募シンポジウム	2021年12月5日	灰谷和代、他3名(共)	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本社会福祉学会、日本保育学会、日本子ども家庭福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本子ども虐待防止学会、 日本ソーシャルワーク学会、日本保健医療福祉連携教育学会						
②各種学会における活動状況						
日本保育ソーシャルワーク学会理事・紀要委員						
3. 研究資金獲得状況						
受託事業 関係	件数	契約先名		契約金額		
	2 件	遊佐町アンケート調査(分担)		100,000(分担分) 円		
		酒田市アンケート調査(分担)		円		
民間機関 等共同研 究	件数	契約先名		契約金額		
	1 件	社会福祉法人本楯たちばな会		100,000 円		
				円		
4. その他						
地域課題関係		(地域課題解決のための研究・活動状況) ICT活用における子ども家庭アセスメントツールの開発を進めている				

氏 名	鎌田 剛					
職位・コース	准教授・地域福祉コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦 年 (元号併記)	発表者名 (共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
口頭発表等 (招待講演・学会発表等)						
1	「裏方」のちから ― 「確 信あるいは覚悟を帯びた テーマ」が連携を導く ―	第23回日本医療マネジメ ント学会学術総会 (一般 口演)		2021年6月25日	鎌田剛	オンラ イン
2	「社会化する医療」 (医 療3.0) の時代 ― 医療連 携, 多職種連携から社会 連携へ ―	第14回日本在宅薬学会学 術大会 (招待)		2021年7月22日	鎌田剛	オンラ イン
3	地域に根差す専門職養成 カリキュラムの一提案 ― 学校間IPEの目標とト ライアル ―	第33回日本看護学校協議 会学会 (招待)		2021年8月4日	鎌田剛	対面
4	Study on the role of university faculty staff in community social work education in Japan: A proposal of 'SDGs Practice- Education Hybrid Model'	THE 26TH ASIA-PACIFIC REGIONAL SOCIAL WORK CONFERENCE (一般口演)		2021年11月12日	Mariko Takeda, Go Kamada	オンラ イン
5	ヘルスケア領域における 次世代連携モデルの探索 ―医療連携・多職種連携 から社会連携へ	第5回社会連携フォーラ ム (採択を受けた科研費 の研究集会)		2022年3月5日	鎌田剛	オンラ イン
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本医療マネジメント学会、農村計画学会、日本保健医療福祉連携教育学会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有・無	種別： 基盤研究 (C)		4,160,000 円		
		種別：		円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 鶴岡市小堅地区における地域ビジョンの策定支援、遊び場づくり等のディレクション					

氏 名		山本 裕樹				
職位・コース		准教授・メディア情報コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦 年 (元号併記)	発表者名 (共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	日時計天文学II：室内日 時計とアナレンマ	慶應義塾大学 日吉紀要 自然科学	68号, pp. 33-47	2021 (令和3年)	東田豊、山本裕樹、表實	
2	人生いろいろ、望遠鏡も いろいろ-4-	富山県立大学紀要	32号に出版予定	2022 (令和4年)	戸田晃一、山本裕樹	
口頭発表等 (招待講演・学会発表等)						
1	いつでも・どこでも・だ れでも天体観測 ～インターネット望遠鏡 の体験～	学都「仙台・宮城」 サイエンス・デイ2021		2021 (令和3年)	山本裕樹	オンラ イン
2	学都「仙台・宮城」サイ エンス・デイ2021の出席 報告	第11回慶應義塾大学イン ターネット望遠鏡プロ ジェクト・シンポジウム		2021 (令和3年)	山本裕樹	オンラ イン
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本物理学会						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有・ ☒ 無	種別： 基盤研究 (C) (期間延長)		0 円		
		種別： 基盤研究 (C) (分担)		150000 円		
4. その他						
地域課題関係		(地域課題解決のための研究・活動状況) ・酒田市地域IT人材等育成委託事業「スーパームーンの皆既月食観察会」(2021年5月26日)を開催 ・酒田市地域IT人材等育成委託事業「部分月食観察会」(2021年11月19日)を開催				

氏 名		門松 秀樹				
職位・コース		准教授 ・ 政策コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦 年 (元号併記)	発表者名 (共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
著書 (翻訳含む) 及び辞書等						
1	『港区史』近代編	港区		2022年 (令和4) 3月予定	第1章「明治前期」第1節 「土地利用」第7節「軍 事・兵事」、第2章「明 治後期」第7節「軍事・ 兵事」、第3章「戦間 期」第7節「軍事・兵 事」、第4章「戦時体 制」第8節「軍事・兵 事」、コラム4本を執筆	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本政治学会、日本法政学会、明治維新史学会、時代考証学会						
②各種学会における活動状況						
時代考証学会運営委員 (NHK大河ドラマ『青天を衝け』時代考証担当)						

氏 名		新名 阿津子・1979年10月21日	
職位・コース		准教授 観光・まちづくりコース	
2. 学会活動に関する業績			
①所属学会等			
日本地理学会、経済地理学会、島根地理学会、地理空間学会、都市地理学会、地球惑星科学連合			
3. 研究資金獲得状況			
受託研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	1 件	鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会	3,000,000 円
			円
4. その他			
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会におけるユネスコ認定に向けた活動の展開		

氏 名		玉井 雅隆				
職位・コース		准教授・国際教養コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順に 本人も含め記入)	開催 形態
著書(翻訳含む)及び辞書等						
1	国際機構と国境 －欧州におけるナショ ナル・マイノリティと 国境地域－	大学教育出版		2022年3月(予 定)	共著	
紀要等						
1	The exchange of information and the role of media in North East Asia －Asian and European Situation－	『東北公益文科大学総合 研究論集』	第42号、137 - 145頁	令和4年(2022 年)	玉井雅隆	
国際会議発表論文等						
1	Energy Security, Economic Sanction and the OSCE: From Economic Dimension to Security Dimension－	International Studies Association 2021	10頁	令和3年(2021年 4月)	玉井雅隆	オンラ イン
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	Energy Security, Economic Sanction and the OSCE: From Economic Dimension to Security Dimension－	International Studies Association 2021		令和3年(2021年 4月)	玉井雅隆	オンラ イン
2	基調報告「エネル ギーがつなぐ環日本 海経済圏とユーラシ ア」	ウェビナー「エネルギ ーがつなぐ環日本海 経済圏とユーラシア 」		令和3年(2021年 8月)	玉井雅隆	オンラ イン
3	OSCE and Divided Eurasia: How does OSCE work?	The 12th International Convention of Asia Scholars Kyoto		令和3年(2021年 8月)	玉井雅隆	オンラ イン
4	Community-Education Nexus	The 20th East Asian Seminar on the United Nations System		令和3年(2021年 11月)	玉井雅隆(討論者)	オンラ イン
5	OSCEの観点から	ウェビナー『ウクライ ナ危機と世界』立命 館大学国際地域研 究所		令和4年(2022年 3月)	玉井雅隆	オンラ イン
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等(必須)						
国際政治学会、国際法学会、ロシア東欧学会、グローバル・ガバナンス学会、日本公益学会、国連学会、ACUNS ISA						
②各種学会における活動状況						
グローバル・ガバナンス学会：理事、広報・インターネット担当						
国連学会：渉外委員会委員						
公共政策学会：書評委員会委員						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有・無		種別： 基盤研究○		3,200,000 円	
			種別：		円	

氏 名	小関 久恵					
職位・コース	准教授・地域福祉コース					
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	「トランスローカルな知 の共同体～場としての大 学の意義と古くて新しい 教養～」 「保健医療福祉 系大学における教養教育 の問題(12)ー専門職養 成教育における教養とい う理念ー」	一般社団法人大学教育学 会	第43回大会ラウ ンドテーブル	2021年6月	小関久恵	オンラ イン
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本社会福祉教育学会、日本公衆衛生学会						
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 酒田市日向地区において教育プログラムを通じた課題解決に向けた活動を行った。ゼミ活動において、今年度策定した地域づくりビジョンへ子どもの意見等を反映させるワークショップ(日向かるたづくり)や(全2回)、コミュニティセンターに開設したコミュニティカフェ「日向里かふえ」における、子どもの遊び場(居場所)づくり(にっこりランド)を定期的に開催した(全7回)。 また地域DXの取り組みとして、NTT東日本のサービスであるウェアラブル端末について、同社と地域との協議のうえ除雪活動における安全管理の側面から実証実験を行った。今後は高齢者の見守りの側面からの実証実験を進めながら、当該地区における高齢者見守り体制に関する関係者間の協議の場を設ける予定である。					

氏 名		樋口 恵佳				
職位・コース		講師・政策コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦年 (元号併記)	発表者名 (共同発表の場合 は論文等に記載した順に 本人も含め記入)	開催 形態
著書 (翻訳含む) 及び辞書等						
1	第11章 BBNJの保全と持続 可能な利用に関する能力 構築制度 『国家管轄権外 区域に関する海洋法の新 展開』	有信堂高文社		2021年6月	樋口恵佳 (論文集型書籍)	
2	第3章 国境紛争と国際法 『国境の時代』	大学教育出版		2022年3月 (発行予定)	樋口恵佳 (論文集型書籍)	
総説・解説等						
1	新型コロナウイルス感染 症の流行により生じた船 員交代の問題と日本の対 応 ―2006年の海上労働条 約の観点から	海の論考 OPRI Perspectives (笹川平和 財団海洋政策研究所)	19号	2021年4月	樋口恵佳	
2	{1の英訳、同一内容} The Problem of Seafarer Replacement Arising from the COVID-19 Pandemic and Japan's Response: From the Perspective of the 2006 Maritime Labour Convention	上と同じ	上と同じ	2021年8月	Eka HIGUCHI	
3	日本の海ごみ関連法と国 際規制動向―改正海岸漂 着物処理推進法を中心に	一般社団法人 産業環境管理協会 (JEMAI)		2022年3月号 (発行予定)	樋口恵佳	
口頭発表等 (招待講演・学会発表等)						
1	Japanese Offshore Wind Energy Policy and Marine Spatial Planning	MARE The People and the Sea Conference 2021 (主 催: Centre for Maritime Research)	査読付学会発表	2021年7月1日	Eka HIGUCHI	オン ライ ン
2	The first step of Japan? -Japanese Offshore Wind Energy Law and Policies	BLUE ECONOMY OPPORTUNITIES IN EAST ASIA :The Potential for Marine Spatial Planning and Blue Economy Initiatives to Improve the Management of Exclusive Economic Zones (主催: リバプール 大学 (在英日本大使館共 催))	招待: 国際シン ポジウム	2021年10月13日	Eka HIGUCHI	オン ライ ン
3	Clarifying "Gap" in new legal binding Instruments for protection and sustainable of marine biodiversity ("BBNJ negotiation") under UN system	第20回 東アジアセミナー (主催: 日本国連学会)	招待: 国際シン ポジウム	2021年11月13日	Eka HIGUCHI	オン ライ ン
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
国際法学会、世界法学会、グローバル・ガバナンス学会、日本海洋政策学会、青森法学会、日本国際連合学会						
②各種学会における活動状況						
日本国際連合学会渉外委員会 (2021年4月-現在)、国際法学会 若手研究者育成委員会 (2018年10月-現在)						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	☒ 有・無	種別: 若手研究		(3年間) 2,340,000 円		
受託研究 関係	件数	契約先名		契約金額		
	2 件	笹川平和財団海洋政策研究所 (白書)		529,240 円		
		笹川平和財団海洋政策研究所 (法的対応)		529,240 円		
その他 部資金	件数	契約先名		契約金額		
	1 件	日本海洋政策学会課題研究		(分担) 14000 円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)					
	公共経営研究所における委託業務: アンケート調査・政策提言 (遊佐町・酒田市) を担当した。					

氏 名		松尾 慎太郎				
職位・コース		講師・経営コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦 年 (元号併記)	発表者名 (共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
著書 (翻訳含む) 及び辞書等						
1	監査の将来 英国下院BEIS 委員会2017-2019期第19報 告書	NextPublishing Authors Press		2021年 (令和3年)	川端千暁、松尾慎太郎	
学協会誌等						
査読無し学術論文等						
1	第16章 監査調査 (文書 化)・査閲	日本会計研究学会スタ ディ・グループ最終報告書 「財務諸表監査の基礎概念 に関する研究」	pp. 225-239	2021年 (令和3年)	松尾慎太郎	
2	第20章 監査意見以外の記 載事項	日本会計研究学会スタ ディ・グループ最終報告書 「財務諸表監査の基礎概念 に関する研究」	pp. 287-315	2021年 (令和3年)	松尾慎太郎	
3	第8章 オーストラリアに おける非財務情報の開示と 監査	日本会計研究学会特別委員 会中間報告書「開示情報に 対する保証の枠組みに関す る研究」	pp. 127-145	2021年 (令和3年)	松尾慎太郎、小澤康裕	
口頭発表等 (招待講演・学会発表等)						
1	Toulminモデルによる「監 査上の主要な検討事項 (KAM)」の分析	日本監査研究学会			松尾慎太郎	オンラ イン
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本会計研究学会、日本監査研究学会、国際会計研究学会、アメリカ会計学会。						
②各種学会における活動状況						
日本会計研究学会特別委員会 メンバー 日本監査研究学会課題別研究部会 メンバー						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有・無		種別： 基盤研究 (B)		(分担) 390,000 円	
			種別： 基盤研究 (B)		(分担) 357,500 円	

氏 名	Edmund Fec					
職位・コース	講師・国際教養コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	Alphabetical Sentences by Edmund Fec	The Language Teacher	46. 2 (予定)	2022年3月発行予定	Edmund Fec	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
1. 全国語学教育学会 (JALT: The Japan Association for Language Teaching) . 2. TESOL International Association.						
②各種学会における活動状況						
I attended 4 Yamagata JALT online meetings (in April, June, September and December 2021) and the 2021 JALT Conference which was held online (November 12-14, 2021).						

氏 名	渡辺 伸子					
職位・コース	経営コース・講師					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	大学生の心理的自立と キャリア探索および職業 観の関連	東北公益文科大学総合研 究論集	41, 103-121.	2021		
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	保護者のシャイネスと 援助を求めることへの心 配の関連	日本心理学会第85回大会	ポスター発表	2021		
2	Financial Threat Scale 日本語版の作成 (1)	日本応用心理学会第87回 大会	ポスター発表	2021	第二著者：沼田真美	
3	Financial Threat Scale 日本語版の作成 (2)	日本応用心理学会第87回 大会	ポスター発表	2021	第二著者：渡辺伸子	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本心理学会・日本青年心理学会・日本パーソナリティ心理学会・日本応用心理学会						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有・無	種別： 研究活動スタート支援		2,600,000 円		
		種別：		円		

氏 名	ノヴァコフスキ カロル ビオトル					
職位・コース	講師・メディア情報コース					
3-1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	Can You Fool AI by Doing a 180? -- A Case Study on Authorship Analysis of Texts by Arata Osada	ation Processing and Manag	Volume 58, Issue 5	2021年 (令和3年)	Jagna Nieuwazny, Karol Nowakowski, Michal Ptaszynski, Fumito Masui	
国際会議発表論文等						
1	日本語大規模ブログコーバ スYACISに基づいたELECTRA 事前学習済み言語モデルの 作成及び性能評価	理学会第28回年次大会(NLP	—	2022年3月 発行予定	柴田祥伍, Michal Ptaszynski, Juuso Eronen, Karol Nowakowski, 榎井文人	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	Application of computational technologies in the study and revitalization of the Ainu language	九州大学 SALC	—	2021年6月28日	ノヴァコフスキ カロル	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
情報処理学会						
3. 研究資金獲得状況						
科研費 関係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有・無	種別:		円		
		種別:		円		

氏 名		佐藤 昭洋				
職位・コース		助教・地域福祉コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁 (-)	発表・発行西暦 年 (元号併記)	発表者名 (共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読無し学術論文等						
1	【資料紹介】山形県庄内 地域における災害履歴の 整理に関する資料― 地 域における災害と福祉の 歴史研究を実施するにあ たって ―	東北社会福祉史研究連絡 会	『東北社会福祉 史研究』第40号 (87-98)	2022 (令和4) 年3月発行予定	佐藤昭洋	
紀要等						
1	【研究ノート】コロナ禍 におけるソーシャルワー ク実習手続きの汎用性の 検討	東北公益文科大学	『東北公益文科 大学総合研究論 集』第41号 (137-151)	2021 (令和3) 年7月30日発行	佐藤昭洋	
2	【研究ノート】社会福祉 施設史研究方法論の動向 と展望―「育児施設の分 院 (支部) 設立」という 分析視点の検討をふまえ て―	東北公益文科大学	『東北公益文科 大学総合研究論 集』第42号 (147-156)	2022 (令和4) 年1月31日発行	佐藤昭洋	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
社会事業史学会、日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本保育学会、東洋大学社会福祉学会						
②各種学会における活動状況						
・社会事業史学会第49回大会 (5月14-16日) がオンライン開催となり参加した。 ・日本社会福祉学会第69回大会 (9月11-12日) がオンライン開催となり参加した。 ・日本ソーシャルワーク学会に正会員として入会した。 ・日本保育学会に正会員として入会した。						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有 無	種別： 基盤研究 (C)		審査中 円		
		種別：		円		